

第2回日野橋の在り方検討委員会 議事録

- 1 日時 令和6年7月30日（火） 13時30分～15時
- 2 場所 鳥取県西部総合事務所3号館 会議室
- 3 出席者
委員：福山委員長、浅井委員、三好委員、中森委員、額委員、高野委員、俵委員
長尾委員、和田委員（欠席：高増委員）
事務局：伊達都市整備部長、山中道路整備課長、足立課長補佐、長田係長、植松係長
大塚文化振興課長、原文化振興官、中原専門官

4 日程

- ① 開会
- ② 委員紹介
- ③ 議事事項
 - ・日野橋のこれまでの経過
 - ・日野橋の今後の検討事項
 - ・次回の検討委員会に向けて
- ④ 閉会

5 議事概要

[日野橋のこれまでの経過]

- (委員) 県内に国指定の文化財となっている橋梁はあるか確認したい。
- (事務局) 資料4頁に示すように、県内において日野橋の他に国指定の文化財はない。資料5頁に、県外の国指定・登録文化財をいくつか示している。
- (委員) ワーレントラス橋以外の文化財もあるのか。
- (事務局) 資料では日野橋に類似するものを整理しているが、ワーレントラス以外にも文化財に指定されている橋梁はある。
- (委員) 資料5頁の文化財の中で実際に利用されているものはどれくらいか。
- (事務局) 道路橋、歩道橋など用途は様々であるが、実際に利用されているものを示している。
- (委員) 文化財の中で、日野橋と同じくらいの規模で補修をして使用されている橋梁はどの程度あるのか。
- (事務局) 詳細までは把握していないが、日野橋と同様、道路橋については5年に1回の点検を実施し、必要に応じて修繕を行っていると考えられる。
- (委員) 在り方検討委員会は、日野橋が今後も必要なかどうか、修繕をして存続させていくかどうかを議論していく場として開催されたとの理解でよいか。

(事務局) 委員会については、日野橋の今後の在り方について広く意見を伺うことを目的としているが、5年に1度の点検で日野橋が老朽化していることが確認され、さらに前年度の塗膜調査において、低濃度 PCB が確認された。令和8年度までに塗膜剥離を行うことが環境省によって定められているため、現在修繕計画を進めているところである。

(委員) 日野橋において PCB の剥離が必要であることは理解しているが、PCB を除去したものの、在り方検討委員会において日野橋が今後、必要ないとの判断になった場合など、定期点検結果と在り方検討委員会で議論する内容の関連が理解しにくい。

(事務局) 令和3年度の定期点検結果をもとに、今後修繕し、存続させるのか、なくすことを考える必要があるのかを議論する目的で在り方検討委員会を開催したが、前年度に低濃度 PCB が検出されたことから、複雑になってしまっている。

(委員長) 現段階では、日野橋の在り方と PCB の除去は別に考えればよいか。

(事務局) PCB に関する修繕工事を令和7～8年度に実施することで計画を進めている。在り方検討委員会は、PCB を除去した後の日野橋の在り方について議論する場であると理解いただきたい。

(委員) 公募で委員になったが、存続を要望している。市の意向は存続と考えてよいか。

(事務局) 市としても道路管理者としての考え方、文化財としての考え方があり、どちらという意向はない。委員の方々に意見を伺うという主旨で公募を行った。

[日野橋の今後の検討事項]

(委員) 橋梁の再利用事例があったが、そのままの形を残したまま文化財として活用したような事例はないか。

(事務局) そのような事例については調査できていない。

(委員) 例えば皆生温泉などと連携し、アクティビティとして再利用する考えもあるため、検討していただきたい。

(委員長) 河川に架かる橋梁のため、そのままの形で移転するなどは非常に難しいと考える。アクティビティでの活用事例があれば、調査していただきたい。

(事務局) 引き続き、活用事例について調査を行う。

(委員) 移設した際には、有形文化財は抹消になるのか。

(事務局) 文化財そのものに文化的価値があるものであれば抹消とならないが、その場所に存在することに対して文化的価値があるのであれば抹消も考えられる。

(委員) 日野橋をなくす場合、新日野橋の方に機能を集約するという理解でよいか。

(事務局) 現在の日野橋は歩行者、二輪車専用橋である。新日野橋の歩道を利用することによって機能を集約化することになる。

(委員) 新日野橋は既に歩道拡幅が実施されており、集約化はすでになされていると認識している。日野橋をなくす場合には、新日野橋の歩道を新たに整備する計画はな

いと理解しているがどうか。

(事務局) 新日野橋は歩道が1.5mから2.5mに拡幅され、自転車と歩行者のすれ違いが可能となっている。現時点では、今後歩道を整備する話はでていない。

(委員) 新日野橋は歩道が狭いこと、日野橋をなくす場合、利用者には大回りとなるため、利便性に劣るのではないか。

(事務局) 現在、右岸側の一部に歩道がない状態である。日野橋をなくす場合には、アクセス道路の整備などを考えていく必要があると考えている。

(委員) 例えばミズベリングなど、日野橋の活用の議論をもっとするべきと考える。資料6頁で周辺の文化財の整理をしているが、市民に対して日野橋をもっと知ってもらうような計画はないのか。

(事務局) 現在、国指定名勝など複数の文化財があることがわかっている。指定、未指定にかかわらず、文化財リストを作成してその一部を資料として提示している。個別の文化財については見学などの取り組みは行っているが、複数の文化財について総合的な取り組みは行っていないのが現状である。

(委員) 日野橋を残してほしいと考えているが、この委員会の中でまとまった提案をする方向性もあると考えるが、どうか。

(委員長) 日野橋を存続させる場合はどういった方法があるのか、例えば地域の活性化や市場化、サウンディングなど、この委員会の趣旨とは異なるかもしれないが、可能性を探っていききたい。

(委員) 有名な画家によって描かれた日野橋と大山の絵がいくつか残っており、景観的な意味でも重要であると考え。写真家も同じロケーションで撮影をしており、大山と日野橋の調和が重要と考えている住民も多いと考えている。交通的な役割は終えているかもしれないが文化的、景観的な意味が大きく、日野橋と大山を切り分けて考えることは難しいと考える。

(委員) 米子市の文化財保存活用地域計画に日野橋の保存検討を行なうことが明記されており、在り方検討委員会はこういった位置づけなのか。

(事務局) 在り方を検討することも保存活用の検討の一部と考えており、大きな部分を占めるものと考えている。

(委員長) 地域計画は公開されているのか。

(事務局) HPで公開されている。次回検討委員会で示す。

(委員) 市全体であり方を検討する場はなかったのか。実施を検討いただきたい。

(事務局) 在り方を議論するような場はなかったが、定期点検の結果を踏まえて話し合いをする場はあった。

(委員) 登録文化財に指定されたが、具体的にどのような経緯で文化財になったのか。

(事務局) 文化財登録制度が定められて以降、近代の文化財についても歴史的価値が認められるようになったことが大きな要因である。文化庁主導で各県の近代化遺産総

合調査が行われ、鳥取県の調査報告書では日野橋の価値を高く評価されている候補として挙げられた。その後、国から登録希望についての照会があり、市が県を通して同意したと認識している。

(委員) 88年長寿を祝う会はどのような主導で開催されたのか。

(事務局) 当時、国土交通省の主導の下で橋梁などの長寿を祝う会が開催されていた。日野橋では数えて88年を迎え、補修工事も終えていたことから今後も末永く利用されるという意味合いで開催された。

(委員) 保存していくとなった場合、修繕費用や点検費用が必要となる。一度大規模に修繕を行えば、それ以降は小規模となるが、米子市で管理している橋梁を予算の中でやりくりしていけるのか。

(事務局) 米子市としては649橋を管理しており、50年以上経過するものに関しては日野橋と同様に検討を行う必要がある。現在はコストの検証ができていないため、次回以降に他の橋梁への影響を含め、概算費用を提示して説明を行う。

(委員) 費用だけでなく文化財という意味でも考えていく必要があるのではないかと。

(事務局) その意見も取り入れて検討をしていく。今後調査を予定している。調査結果の報告とそれを踏まえた費用を提示する。

(委員長) 他のトラス橋の修繕、撤去費用などの情報が入手できるか。できる限り情報を集めていただきたい。

[次回の検討委員会に向けて]

(委員長) 次回委員会のタイミングについて説明いただきたい。

(事務局) 河川管理者協議を経て現地調査、概算工事費の算出を行う予定であり、第3回委員会は11月末を目標に開催したいと考えている。

(委員長) 11月末の第3回委員会で、アンケート内容を議論するのであれば、その結果報告はさらに後になるということか。

(事務局) アンケート結果の報告は第4回委員会となる。11月末からなるべく早くアンケート調査を実施し、結果をまとめる予定である。

(委員長) 地元の説明会のタイミングは次回委員会のあとになるか。

(事務局) 点検結果や文化財の価値は説明できるが、費用の面でも説明をする必要があると考えているため、第3回委員会後で考えている。

(委員) 車尾まちづくり協議会では、幅広く住民に説明会に参加してもらえるように計画をしている。委員会で出た意見などは、報告する予定である。

(委員) 次回委員会について、11月末の開催は遅くないか。なるべく早めに動いていただきたい。

(事務局) 調査等もあり、11月末を目標としているが、準備が整い次第、開催する。

(委員) 大社駅の旧駅舎(※国重要文化財 旧大社駅本屋)は保存活用の取り組みが進め

られており、100年を迎えているため、参考になる。日野橋についても文化的な価値を理解いただきたい。

(委員) アンケートは3000件を出してそのうちの300件集めるということか。

(事務局) 必要な信頼度を確保するためサンプル数を決定している。

(事務局) 本日いただいた意見を整理し、なるべく早期に委員会を開催したいと考えている。また、手紙、メールなどで状況の報告や意見を伺うことも考えている。

以上